

泉の自治だより

題字 島崎 成治

No. 127

発行所 泉町連合区
 発行責任者 連合区会長 島崎 成治
 事務局 (泉公民館内)
 土岐市泉中窪町 TEL 55-3653
 編集部長 中島 満寛

篤敬

木曜会
杉本 敏子

泉町連合区より平成30年度要望書が市へ提出されました

泉町連合区からの要望の他、泉町各区（河合、定林寺、駅前、大富、久尻）からの要望書も市へ提出されました。

このような現状であり、公民館建設を諦めるのではなく、公民館を利用し易い様にと要望をしました。建設にあたり、泉町は都市化が進み、広い公有地が無い中、どのような公民館がよいかなど、要望事項について、今後とも泉町市議団

平成三十年度の泉町連合区との協議は、泉町市議団と協議し去る七月六日に土岐市長に提出して来ました。本年度の要望事項は、(一)施設の建設促進が三項目

(二)道路の建設が一項目 (三)その他事項が一項目 新規事項はなく、昨年度からの継続事項が五件で有ります。昨年度は、泉公民館の駐車場西側の垣根の撤去・駐車場の拡大を図りました。土岐市駅周辺バトロール隊の新しい詰所が建設され、現在利用しています。

本年度の要望事項の「泉町認定こども園」については、『いずみ保育園』は耐震補強が技術的に出来ないとのことであり、園児の安全対策を最優先で取組むよう要望しました。「泉公民館の建設」は永年の懸案事項であり、何度も候補が検討されてきましたが、実現に至っていません。また、新庁舎の建設、認定こども園の建設等が始まっており、泉公民館の早期建設は困難な状況であります。

要望書とは別件ですが、自治だよりの紙面を借りまして、泉町民の皆様にお願ひがあります。以前から、児童の登下校時間にボランティアで見守りを行って頂いて頂いて下さる方々があり、大変有難うございます。連合区として、昨年度より「泉町児童見守り団体登録」を始めました。このボランティアの輪を広げていきたく、また不幸にも児童見守り中に事故にあわれた時、市へ見舞金支給届の証明ができます。各区分長・各町内会長の協力を得て、児童見守りボランティアを行って頂いて頂いて頂くと、この団体登録をして頂いて頂くと、この登録をしない方がみえませんが、是非登録をお願いします。また、これから児童見守りを始めて頂く方も登録をお願いします。紙は泉公民館連合区事務局(平日の午後一時～五時)にありますのでよろしくお願ひします。

平成三十年度
市への要望事項
泉町連合区総務 有賀 義隆

最後にありますが、泉町連合区の活動にご理解・ご支援の程よろしくお願ひ申し上げます。

と協議しながら進めてまいりますので、よろしくお願ひします。

要望書とは別件ですが、自治だよりの紙面を借りまして、泉町民の皆様にお願ひがあります。

以前から、児童の登下校時間にボランティアで見守りを行って頂いて頂いて下さる方々があり、大変有難うございます。

連合区として、昨年度より「泉町児童見守り団体登録」を始めました。

◆◆◆平成30年度 泉町連合区要望書◆◆◆

項目	要望事項	要望の要旨
1. 施設の建設促進	(1) 泉町認定こども園建設計画に対する要望 (継続)	貴市から「泉町認定こども園について」の建設計画を平成26年5月12日に泉町連合区および泉公民館建設小委員会に対して初めての説明が有りましたが、大徳原球場に建設する計画は課題が多く進展が有りません。このような中、園児等の安心安全対策が優先的に必要と要望し、平成28年度に「みつば保育園」の耐震化工事を実施して頂きました。「いずみ保育園」は耐震補強が技術的に出来ないとのことであり、最優先に園児等の安心安全対策が必要です。「久尻保育園」は通園する道路が非常に狭く、また駐車場が大変少ない環境であります。この2つの保育園の現状を考慮し、早急に新たな施設整備計画を示すよう要望します。
	(2) 泉公民館の建設促進を要望 (継続)	泉公民館は、市内で利用率(平成29年度では24の社会教育関係登録団体を中心に延べ約3万2千名の利用)のもっとも高い公民館であります。建築面積は他の公民館の半分で600㎡と狭く、昭和56年に建設されて37年を経過し、給排水設備等の老朽化と建設当時の設備内容では不十分で生涯学習施設としては利用しづらい状況にあります。このような状況である為、泉連合区として平成11年頃より毎年泉公民館の建設を継続して要望してきました。そして平成19年度には「泉公民館建設委員会」を立ち上げ、広く町民の意見を集約し建設要望を進めてきました。平成26年度の貴市からの市営大徳球場に「泉町認定こども園」の建設計画を進められる場合には、長年の懸案事項となっています泉公民館の建設計画と並行して進めて戴けますよう要望します。なお、「泉町認定こども園」の建設および泉公民館建設計画までに数年かかると思われます。この間に現在の泉公民館を幼児から高齢者まで幅広い層が利用しやすいように、駐車場対策・バリアフリー対策・エレベータ・洋式トイレ等の整備の対応が必要と考えます。昨年度は、駐車場西側の垣根を取り払い、北側の花壇を撤去し駐車スペースの拡大を図っていただきました。今年度は以下の2項目を要望します。 ①泉公民館西側トイレ前の空き地に身障者用駐車スペースの確保と、駐車がスムーズに出来るようにフラットに整地する。 ②泉公民館東側駐車場の白線が消えているので、白線を引き駐車スペースがスムーズに出来るようにする。
	(3) 泉児童センターの建設促進を要望 (継続)	泉児童センターは、平成9年から一校区一児童館の方針に基づき泉西校区に泉西児童館の建設要望をして参りましたが、平成16年になって市から児童館が担って来た未就園児やかぎっ子対策について、幼稚園での3歳児の受入や保育園での子育て支援センターの設置、小学校での放課後教室の設置に伴い「児童館・児童センター」の見直しが必要との理由により泉西校区での児童館建設が後退されました。そこで以前から泉児童館の老朽化と駐車場の狭さが問題となっていたので、平成20年から泉町一つの「泉児童センター」の建設要望を継続して来ました。去る平成26年5月12日貴市からの「(仮称)泉認定こども園」の建設計画により、認定こども園に併設して「子育て支援センター」が設置されることですが、子育て支援センターは未就園児が対象であり、小学生の児童は対象とはなっていません。現在、泉・泉西小学校での放課後教室が学童保育の補完的な役割りを果たしていますが、放課後教室に行けない児童もいます。児童センターでは、児童同士が互いに交流し、社会学習や体験学習など多く役割りを果たしています。人口減少が予測される中において、国の「骨太の方針」で子育て支援が重要な柱として位置づけられていますように保育園、幼稚園、児童センター、小学校、中学校、公民館等が一体となって、あらゆる機会を捉えて子育て支援のできる環境づくりが求められています。よって、新たな認定こども園の建設計画の推進に当たっては、泉児童館は駐車場が狭く老朽化しておりますので、泉児童センターの建設計画を含めた建設計画を策定されますよう強く要望します。
2. 道路の建設	(1) 国道19号線・池の上交差点から中央自動車道新丸石橋經由五斗峠までの道路建設を要望 (継続)	本要望道路は、平成15年度に「住民参画型道づくり委員会」で協議し、その成果による要望であります。現在、土岐アクアシルヴァの企業誘致、県道土岐可児線の道路整備が進み、交通量が飛躍的に伸びて来ており、国道19号に出る車が多くなり渋滞が発生しています。このため寺上町中央道下および久尻保育園から西原町を通り国道19号へ抜ける車があり、この地域の生活環境が大変危険になっています。池の上交差点から五斗峠までの新設道路建設について、今後とも早期実現して戴くよう強く要望します。なお、県道土岐可児線の土岐アクアシルヴァから環境センターへの進入道路となる交差点から引き続き南進して工事を進めて戴き、池の上交差点からは緑ヶ丘町に向けては、北進して工事を進めて戴きますようお願いいたします。
3. その他事項	(1) 「陶祖碑」の移転について (継続)	榎公園内に巨大な陶祖碑が建設されて半世紀以上が経過し、美濃陶祖(加藤景延公)の顕彰記念碑として市民に親しまれて来ました。毎年、春の陶祖祭には市民挙げて遺徳を偲び祭礼が執り行われて来ました。しかし、築60年以上を経過し、近年、南海トラフを震源とする巨大地震の発生が想定される中、平成28年4月には熊本地震が発生しており、倒壊が大変心配される状況にあります。榎公園は児童公園であり、公園内にこのような危険性がある「碑」が建立されていると住民も安心して過ごすことが出来ません。「美濃陶祖奉賛会」でも移築について思慮されており、住民の安全を考えるうえで地元駅前区に移築についての協力依頼がありました。つきましては、榎公園を安心して使用できるように万全な安全対策が必要であり、碑の移築等安全対策を実施するよう要望します。

「定林寺観音堂と九万九千日祭」

水野 とみ子

たくましく生きつづけてきた定林寺の歴史の中に九万九千日祭があります。この祭りはいつ頃からか振り返ってみます。「瑞雲山定林寺」は、足利幕府の重臣の一人であつた土岐頼貞（初代美濃守護）が大富に館を構えて、その鬼門の方向にある下河合村に建立し、仏光国師を開山とし、名僧・高僧に守られて二百五十年間続いた禅寺でした。

焼打されて百十八年後の延宝五年（一六七七）六月二十一日といわれます。定林寺を思い頼貞公の冥福を祈り、定林寺総意の大法要が行なわれて以来今日迄続いています。この六月二十一日は旧暦であり、今日の七月九日前後になりますので、九日前後の土曜日にこれを記念して九万九千日祭が行なわれています。

九万九千日祭は永遠に続くという意味で、この日お参りすると九万九千日お参りしたの相当する功德がある。幸福の道が開け、子孫繁栄の願いが得られるといわれ、東濃で第一番目の夏祭りとして近年は市外からも参拝にみえ、多くの人がありにぎやかな祭りです。（東京の浅草観音さまの

四万六千日の功德日と同じです。この四万六千日を京都の清水寺や大阪葛井寺では千日参りと呼んでいます。定林寺観音堂は現在地から三百米下にあり、古老の話では「観音堂の前で子供相撲があり勝つと飛行機の模型がもらえたと。置物もあつたし、国道（旧二十一号）ではおどりの輪が出来て夜遅くまで楽しんだ」といわれます。観音堂は昭和二十八年（一九五三）五月に現在地に解体移転復元されました。青年団が中心になり祭り事一切を進めていきました。定林寺区で行う様になりました。置物はアンパンマン・となりのトトロ・昔話から鶴の恩返し・桃太郎・一寸法師等作られたが、平成に入ってから少しずつゲームに変わり、数年前返あつた子供相撲は無くなり、踊りは女性部が主に

やがて、戦国時代武田軍により焼打されて定林寺は跡形もなく消滅しました。江戸時代に入りようやく平和が戻ると、この瑞雲山定林寺再興の願いもあつてから観音堂、十一面観世音菩薩が再興され、かつての定林寺の面影を残しました。それは

なつて踊るようになってきました。土岐音頭や郡上節が聞こえてくると手足が動き出すという人もいて「ちようちん祭り」とも言つて楽しんだ九万九千日祭りです。平成十一年（一九九九）観音堂は新築再興されました。由緒ある名刹を定林寺の誇りとして、諸仏を併せ祭りながら長年守り続けられています。今年も観音堂に住職さんと関係者の説経が厳かに響き、九万九千日祭が行われました。新しい定林寺の歴史づくりです。



連合区会各古屋で発表

泉の自治だより編集部長 中島 満寛

去る平成三十年六月二十三日（土）、名古屋市中区名駅桜通口カンファレンスセンターで開催された、中部ブロック防犯ボランティアフォーラム（主催：中部管区警察局）で、土岐市駅周辺パトロール活動について島崎成治泉町連合区会長が活動発表されました。

防犯ボランティアに参加する団体数・参加人数は我が国における少子高齢化が進み、地域との関わりが希薄化といった社会構造の変化が起因し、横ばい状態が推移しているのが現状です。また、地域によっては団体の高齢化・後継者の不在も見られ、活動を

中部ブロック 防犯ボランティアフォーラム 日時：平成30年6月23日(土) 13:00~16:30 場所：TKP名駅桜通口カンファレンスセンター 主催：中部管区警察局

継続する上での問題がみられるようになりました。そこで、このフォーラムを通して課題解決の糸口が掴めることを期待し、発表されました。

特に、我が町を取り組むには既に十年以上も続き、青少年の健全育成に寄与しているものと思われ、先ず「継続は力なり」、先輩諸氏から脈々と受け継がれている我が町の取り組みが、評価されたことは本当に喜ばしい事と思われ、ここに紙面を借りて報告申し上げます。



平成30年度泉町のイベントカレンダー（10月～3月）

Table with 5 columns: 月 (Month), イベント (Event), 主 催 (Organizer), 開催日 (Date), 会場 (Venue). It lists various events from October to March, including sports events, festivals, and cultural activities.